



# ねっとわーく

22. 9. 28 No.20

◆横山先生、提案授業ありがとうございました(^\_^)

10月15日(金) 間近の授業研ということで、大変参考となる授業を提案していただきありがとうございました。自分の悩みも含めて、以下、感想になります。

## (1)「教える」について

2回繰り返し下がりのあるひき算のひっ算。とてもいいに扱われていたなあと思いました。特に、子どもとの対話を重視して、基礎基本をしっかりわかりやすく教えてくださっていたのではないかと思います。

教えている中で、子どもたちから、「あれ、先生、教科書とちがうよ。」というつぶやきをうまく拾い上げてくださっていたと思います。指導案での教える段階の時間、延びてしまいましたが、ここは、ある意味仕方ないのかなと(笑)

私の近くに、陽くんがいたのですが、一見先生の話聞いていないようで、でも、ちゃんと先生のやり方を守って問題を解いていたので、感心したところです。

## (2)「考えさせる」について

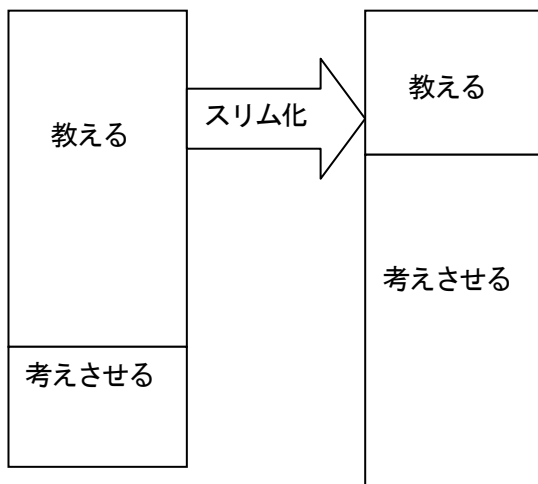
夏の研修会の「まちがいさがし」的な理解深化課題を思い出しました。「まちがいさがし」って、子どもたちにとってはゲーム的な感覚で意欲を喚起しやすいものだなあと、横山先生の実践を通して、改めて感じました。低学年から高学年まで使える要素が多分にあるなあ。

ただ、教える段階の時間が押ししてしまったがために、若干短くなってしまったのが残念でした。また、2年生の段階で、まちがいについて、どこまで話せる(書ける?)のかと思ったところです。事後研でも話題になったそうですが、教師側のねらいをどこに持っていか。

私たち全員の課題でもありますね。

「何を考えさせたいのか、そのために、どんな課題を準備するのか、どう発問(指示)するのか、また子ども同士の学び合いをどう構築していくのか」あたりです。

私自身、低学年を持った経験がないので、わからない部分ではあるのですが、下のようなイメージだと教える段階のスリム化が図れるのではと思いますが…、反面、子どもに任せる教師の勇気が必要なのかなと。(悩みです(^\_^))



教えることに、あまり完璧さを求めない。(もーほんとに厳選)

理解深化課題を通す中で、教えることに振りかえさせて、習得を図っていく。  
(子どもたち同士の学び合いを生みつつ、習得が図れるような課題や場を準備)

教えたことが、考えることと行き  
つ戻りつするよなイメージ